

共同印刷、紙を使ったラミネートチューブを開発 プラスチック使用量を約 10%削減

共同印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:藤森康彰)は、チューブ胴体の層構成の一部に紙を使用したラミネートチューブを開発しました。キャップにも紙パウダーが主原料の成型材料「MAPKA®(マップカ)※1」を使用した、容器全体で環境に配慮した製品です。2月24日から東京ビッグサイトで開催される「TOKYO PACK 2021-2021 東京国際包装展」へ参考出品します。

当社は、化粧品や医薬品、歯磨き・食品向けなどの各種用途に対応するチューブ容器を製造しています。なかでもラミネートチューブは、自社開発した LTP 印刷※2 や業界に先駆けて導入したフレキシ印刷技術による、高機能・高精彩な製品を提供しています。

チューブをはじめとするプラスチック包装材は、製品の安全性や品質維持に貢献し、私たちの健康と豊かな生活を支えています。一方、ワンウェイプラスチックである包装材の過剰な使用は、地球環境保全の観点から抑制していく必要があります。

そこで、プラスチック包装材の供給者として脱プラスチック課題へ真摯に取り組み、持続可能な社会の構築に貢献するため、チューブ胴体に紙を使用したラミネートチューブを開発しました。

本品は、ラミネートチューブの層構成の一部を紙に変更することでプラスチック使用量の約 10%削減※3 を実現しました。紙の風合いをデザインに生かすことはもちろん、紙部分へは一部植物由来の原料を使用したバイオマスインキによる印刷も施すことも可能です。キャップ部分においても環境へ配慮し、紙パウダーが主原料の成型材料「MAPKA®」を使用しています。

今後も当社は、環境対応パッケージの開発に取り組み、製品ライフサイクルを通じたサーキュラー・エコノミー(循環型経済)の実現をめざしていきます。

なお、本品は、2月24日から26日まで東京ビッグサイトで開催される「TOKYO PACK 2021 -2021 東京国際包装展-Tokyo International Packaging Exhibition 2021」へ参考出品します(当社ブース:W1-05 [西1ホール])。



※1 MAPKA:株式会社環境経営総合研究所が開発したプラスチック原料に微細な紙パウダーを混成させた新素材。また、MAPKAは同社の登録商標。MAPKAの詳細はこちら <https://ecobioplastics.jp/products/mapka.php>

※2 LTP印刷:ラミネートチューブ専用の樹脂活版印刷方式

※3 チューブ径 35mm、胴体部分長さ 107mm の場合